

## 小・中一貫教育説明会（3日目）における意見・質問・要望等【概要】

日 時：10月23日（火）午後7時～午後9時15分

参加者：増田教育長 光嶋教育部長 岩井学校教育課長 細矢学校教育課課長補佐  
茨木教育総務係長 田中学校教育係長  
一般住民名38人＋3小中学校校長

### 【進め方について】

☆この計画は子どもの視点に立っていない。平成25年のアンケートの6、7割は反対か疑問があるという回答。現実的に小学生が中学生を怖がったり、遠慮したりする場合もある。この計画は中学校が落ち着いていないとできない計画なのでもっと慎重に進めるべき。もっときっちり説明してください。我々は情報が欲しい。（禅定寺、男性）

☆周りのお母さん方にも賛成意見は全然なく、小中一貫教育は賛成でも小学校を1つにすることへの賛成意見は聞かない。今回の紙には決定と書いてあり、説明会に行ってもしかたがないという意見も多い。今後、反対意見が多かった場合は見直しの可能性はあるのか。（贅田、女性）

☆小中一貫教育を通して魅力的な教育を発信していきたいと言われましたが、住民の意見を聞くことなく押し付けるようなことであれば逆に魅力がない町で、住みたいと思わない。もう少し住民の意見を聞いて、それから決定されてもいいかと思う。（贅田、女性）

☆一体型に決まったのであればもう少し細かく項目ごとに説明をしていただきたい。もう説明会はされないのか、このスケジュールのまま行かれるのか教えてほしい。（南、女性）

☆修学旅行を2校一緒に行っているのはすごく面白いし中学校へ向けて行事で一緒になるのはすごくいいことだと思う。一体化することで一番影響が出るのは子どもたちなので、子どもたち自身も何かを感じ、変わってきたと思うが、子どもたちの意見はあるのか。（緑苑坂、女性）

☆田原小学校も宇治田原小学校も地域の文化だと思う。今回の決定は、色んな意味で町づくりに関わる全部が総合されていると思うが、今と同じ形で進めていくことにマイナス面がないのなら、両小学校を残して行く形で宇治田原町独自の教育をやってほしい。まだこの人数だったら急いであることはない。(岩山、女性)

☆何故反対意見が多いのか。啓発ができていないのだと思う。今日は学校の先生が誰も来ていないが、現場の状況をみんな聞きたい。一体型になれば、小・中学校の先生の連携ができ時間をかけて子どもたちを育てていくことができると思う。

(緑苑坂、女性：中学校保護者)

☆今日、賛成意見も反対意見もたくさん出てきて、若いお父さん、お母さんが色んな意見を言われたことに正直感動した。真剣に子どものことを思って、子どもに力をつけようと思ってでた意見を無駄に終わらないよう是非活かして欲しい。今後の説明会も皆にきちんとわかるような手立てをとって欲しい。(岩山 女性)

☆6年後のことですが、説明会のターゲットを変えないと。妊婦さんや未就学児童の家庭はもっと現実味が出てくるのかも知れない。うちは直接的にはあまり影響がなさそうなので今一つ興味を持ってない。これだけ少子化が進むと変化は仕方ないと思う。(保護者)

☆小中一貫になったらどんなメリット、デメリットがあるのか勉強不足でよくわからない。多くの方がよくわからない中で現状日和見しているのではないか。宇治田原型の教育を考える勉強会、保護者を対象にした説明会などがあればもっと関心が持てる。(保護者)

☆小中一貫は最近よく耳にするが、正直、お役所が効率よく動ける管理するため。小学校低学年と中学生が同じ学舎に行っても勉強が進むとは思えないなどの疑問がある。(保護者)

☆昔のことはわからないが、教育委員会と現状の親の思いとはギャップがあると思う。そのことは具体的に一貫教育が勝手にこんなに進んでいるのかという疑問にも出てきます。そういうことを思っている親は多いと思う。(保護者)

☆小中一貫教育は以前に配布されたプリントで見たことがあるが、施設一体に決まったことは全く知らなかった。小学生の母親になるのに情けない話ですが、そこまでは深く考えていない。(保護者)

### 【教育制度等について】

☆一貫教育のカリキュラムが何なのかがよくわからない。カリキュラム上、どういう中身を指導されるのか具体的なものが出ないと何も実体がわからな。だから全て準備して一定こういう計画の学校になるということを示してもらわないと説明会をするには性急すぎる。  
(禪定寺、男性)

☆子どもは「1クラスより2クラスの方がいい。運動会の時どうすんねん。」と言った。そういう子どもの視点が親の視点と違うなと思った。教育は箱より中身だと思う。子どもにとってはここが故郷。大人になった時にふと思い起こせるような教育をやってほしい。  
(南、男性：小中学校保護者)

☆今の段階では賛成派。子どもの立場になって考えるとクラス替えがあることは、とても大きなこと。クラス替えは子どもにとって必要。弱い子どもにとって、先生が1対1で1クラスを見るのではなく、2クラスで2人の先生が見る体制がいい。担任に言えなくても隣の先生なら言えるという考えがある。1学級に1人の担任だけで6年間過ごすことは、子どもにとって逃げ場がない。(銘城台、女性)

### 【教育制度等（小中一貫教育に対する保護者の声）】

☆私自身は、高学年が低学年を慈しみ低学年が高学年を憧れるということは非常に良い事だと思います。一体型にするかどうかは通過点であって、これまで一貫教育を進められてきた成果、一体型にした先の教育像、環境、何が良くなるのかを示していただきたい。  
(荒木、男性)

☆毎年1クラスになるかどうかでママたちは一喜一憂しています。今年の学習発表会でも1クラスの学年と2クラスの学年とでは仕上がり具合が違う。既にクラスが少ない弊害が出ているのに。先生の質と言うより俯瞰できない状況にあるのが問題。(保護者)

☆1学年1学級は、先生の仕事量、授業の進み速度、具合からしても大変負担に思います。中学と一体型することにより授業内容の充実や子供や先生の負担が少しでも軽減される学校づくりを期待したいです。(保護者)

☆新校舎に実際に入れなくても、田小、宇小の学習内容を今からでも一貫して欲しい。交流がもっとあっていいと思います。(保護者)

☆ここ数年の子どもたちは凄く落ち着いている気がします。一貫教育が少し浸透しているからでしょうか、先生方も頑張ってくれていると思います。(保護者)

☆小中一貫になったらケジメがつかないような気がします。長い小学校が終わって中学になる時、大人になるみたいで身が引き締まったことを覚えている。(保護者)

【教育制度等について（一貫教育内容の今後の拡がりについて）】

☆今6年生と2年生の子がいる。2クラスの学年で良かったなと思いながら子育てをしている。6年後の開校となっているが、その過程で田小と宇小の連携というか、どういうふうに関わっていくことになるのか。年度ごとに事前に示してほしい。

(南、女性：小学校保護者)

【教育制度等（小中一貫教育について6つの問題点）】

☆小中一貫教育の理念や6、3制以外の教育制度を全面否定する考えではないが、宇治田原町で行われようとする小中一貫、学校統廃合を一体化したやり方には到底賛同できない。以下6つの点を問題と考えるからです。

①文科省や教育委員会の土俵で議論されているが、イニシアチブを握っているのは総務省や財務省である。教育再生会議の新しい目玉として小中一貫にリンクした学校統廃合を出してきたと考えている。

②メリットとして中1ギャップ解消の問題がいわれるが、繋がることのデメリットの方をむしろ心配する。6歳と15歳が同居できるのか。体格や生徒指導上の問題。小6の自負心が薄まり最高学年の出番が失われ成長が抑えられないかが心配。

③町内の3小中学校は、現在220から250名程度いるが、小規模校といえるのか。今後も減少傾向にあるのは事実だが、京都府全体、全国規模でみれば、90%以上が宇治田原のような学校ではないか。全国各地でこういう議論をしているわけではない。

④京都府内で一貫校となった学校がいくつかあるが、そうした所で今どういうことが起きているのか、検証がまだ不十分である。活気があって良くなったというメリットがある一方で、多くのデメリットも報告されている。6歳と15歳が共存するには様々な条件整備が遅れている学校もある。

⑤学力の問題で9年間を系統だてたきめ細やかな指導、つまずきの未然防止ということが言われているが、真の学力は受験学力だけではない。豊かな人間形成をつくり勉強はまず「わかる」喜びというものをどう作っていくのが重要であると考えている。

⑥この問題は教育の問題として教育委員会やPTAを中心に議論されているが、町が進める活力町づくりの問題であると考えている。この問題が教育関係者だけで語られるのは不十分ではないか。平成25年のアンケートでは一体型か分離型かは拮抗した数字だった。住民の考えが真っ二つに分かれている中、二つの小学校の灯を簡単に消してしまっているのか。

決定までにまだ時間があると思う。場合によっては住民投票なども視野に入れて議論を深

めることを期待して私の意見とする。(立川、男性)

☆一体型の学校はこれから議論されるだろうが、隣接の小中一貫校なのか一体型の小中一貫校なのか、あるいは今出だした義務教育学校なのか。今考えがあれば聞かせてほしい。  
(立川、男性)

#### 【教育制度等について（移行期の教育）】

☆移行期に学校にいる児童はどのように一貫教育されていくのか。途中から統合される小学校に通う子どもたちはどのようになるのか。親たちからこれだけ反対意見が出ているのにそれでもこれを押し通すことは率直な意見としてできるわけではないと思う。(緑苑坂、女性)

#### 【通学について】

☆4 km程度までは徒歩通学とあったが、いったい中学校から4 kmとはどこまでか。小学生の通学距離、徒歩通学の効果（自然とのふれあい、体力づくり）、集団下校時の時間的な制約等を総合的に判断して小中一貫校の在り方を最終判断してほしい。(禅定寺、男性)

☆見守り隊とか色んなかたちで地域の人に関わってもらっている。通学が変わるとそういう人たちにも関わってもらえない。地域に誇り持てない、そんな子どもたちを育てられますか。(南、男性)

☆子どもの人数が少なくなるから1つにするのは、いいことだと思う。ただ、通学方法は、しっかり決めてから何回も説明してほしい。このスケジュールでは早過ぎる。今後、色々と検討する上でこのスケジュールを延期する等、もう少し時間を重ねてして行ってほしい。  
(南、女性：小学校保護者)

☆今見守り隊の人が毎朝立ってくださり、すごく安心だし、歩いて通うことで体力がついたり、人との繋がりができたりする。一体型になって見守り隊の人がなくなった時に寂しいという思いがある。(南、女性：小学校保護者)

#### 【施設、財政、その他について】

☆学校を建てることはお金がかかるから行政の問題だとあった。それなら、行政として防災上ここが本当に安全なのか。費用の問題で町が本当に新しい学校を建てるお金を出せるのか。田原小学校、宇治田原小学校の施設が無駄になるがどうするのか。町の考えておられる政策と一致しない。行政の問題ならそこを擦りあわせほしい。(南、男性)

☆統廃合は減るからやるのではない。増やしたいからやるのだという発言があったが、そのことを真剣に考えるのなら、綾部市の志賀小学校のような取組を具体的にやらない限り宇治田原の小中一貫があるから、人口が増えるなんてことはありえない。(立川、男性)

**【施設、財政、その他について（施設一体型の候補地について）】**

☆新しい施設は、通学距離が延びる子どもが多くなる上に、町庁舎移転では水害危険地域と言われていた田原川沿いに校舎を建てるのが子供の視点で考えたと言えるのか。魅力ある学校を作りたいのなら、小規模校を魅力ある学校に変えたらいいと思う。(南、男性)